

これからの長野市のことを考えよう

～長野市子ども議会が開催されました～

3月定例会では、当初予算として過去最大となる1,931億円余りの令和7年度一般会計予算を可決しました。オリンピック施設の長寿命化改修、3年後に迫った国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の会場整備等のほか、健康で生き生きと暮らせるための支援や災害に強く住みやすいまちづくりなどを進めます。

3月27日には、令和6年度長野市子ども議会が開催されました。12組14名の児童・生徒が参加し、防災活動、学校同士の交流など、よりよい長野市にするため日頃から考えたり感じたりしていることについて、大人顔負けの様々な提案を市に対して行いました。本市の将来を担う子どもたちが、このような機会に市政に興味をもち、よりよい社会をめざすきっかけになることを期待しています。

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

ながの だより 市議会

令和7年
3月定例会
2月臨時会

NO.130

■主な内容

- ◆審議された議案等……………2～5
- ◆市政に関する質問の要旨…6～13
- ◆常任・特別委員会のうごき…14・15
- ◆令和6年度子ども議会……裏表紙



AC長野パルセイロ
5月のホームゲーム
(長野スタジアム)

トップチーム：SC相模原戦5/3(土)18時、奈良クラブ戦5/31(土)14時
レディース：ちふれASエルフェン埼玉戦5/4(日)16時、セレッソ大阪ヤンマーレディース戦5/10(土)14時

令和7年度予算を可決

一般会計予算額は1,931億2,000万円

3月市議会定例会が2月26日から3月25日までの二十八日間の会期で開かれ、令和7年度一般会計と各特別会計、各企業会計の予算案、令和6年度一般会計補正予算案などの議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました（5頁参照）。ここでは一般会計予算等議案の概要について紹介します。

一般会計予算の概要

令和7年度一般会計予算は一千九百三十一億二千万円で、前年度比二百八十億九千万円の増額となり、当初予算では過去最大となりました。

新年度予算では、未来の飛躍に向けた「変革」「挑戦」と持続可能な財政運営の維持を基本方針とし、未来を見据えたビジョンや新たな取り組みに積極果敢にチャレンジしつつ、引き続き未来への投資を進めていくことで、本市の魅力を高め、活力あるまちの実現をめざします。

主な事業

◆未来の飛躍に向けた「変革」・「挑戦」

「健康で生き生きと暮らせるための支援の充実」

●子どもの福祉医療制度窓口無料化



令和7年4月診療分から実施される子どもの医療費の窓口無料化

令和7年4月診療分から18歳年度末までの子どもを対象に、1レセプトにつき五百円の受給者負担金を廃止し、福祉医療制度の窓口無料化を実施します。（三億九、六三万六千円）

●帯状疱疹ワクチン定期接種

個人の発症及び重症化を防止するため、高齢者に対し、帯状疱疹の定期予防接種を実施し、接種費用の一部を市が負担することで、個人負担を軽減します。（三億七、一七五万八千円）

●加齢性難聴者補聴器購入費補助金

加齢性難聴者の社会参加を後押しするため、難聴による生活の質の低下やそれによる閉じこもりなどがないように補聴器購入費を助成するとともに、補聴器装着後も市関係課や医師会、補聴器販売会社と連携して一体的に支援します。（五七二万八千円）

●産後ケア

必要とする全ての人が利用しやすい環境を整えるため、利用料の市負担割合を七割から八割に拡大することで、事業者の安定的な事業継続及び利用者負担の軽減を図ります。（三、二六万七千円）

『災害に強く「住みやすいまち」の推進』

●中山間地域草刈り支援

地域共同作業の担い手不足が進む中山間地域において、住民が行う除草作業の負担軽減を図るため、ラジコン式草刈り機の導入等により、地区の草刈り範囲や手法、役割分担など持続可能な仕組みを検討します。

また、幹線市道における除草作業においても、大型草刈り機の増設により、市が実施している幹線市道の草刈り範囲を拡大します。（四、四五五万八千円）

●住宅・建築物耐震改修促進

大規模地震による住宅の倒壊等の被害から市民の生命、財産を守るため、旧耐震基準で建てられた木造戸建て住宅の所有者に耐震化の啓発や木造住宅耐震診断士を派遣して耐震診断を行い、耐震性能の低い住宅の耐震改修工事に要する費用に対し支援します。また、特定既存耐震不適格建築物等の耐震診断に要する費用に対し支援します。（一億四、四八万七千円）

『市内経済の成長に向けた基盤の強化』

●新たな産業用地開発

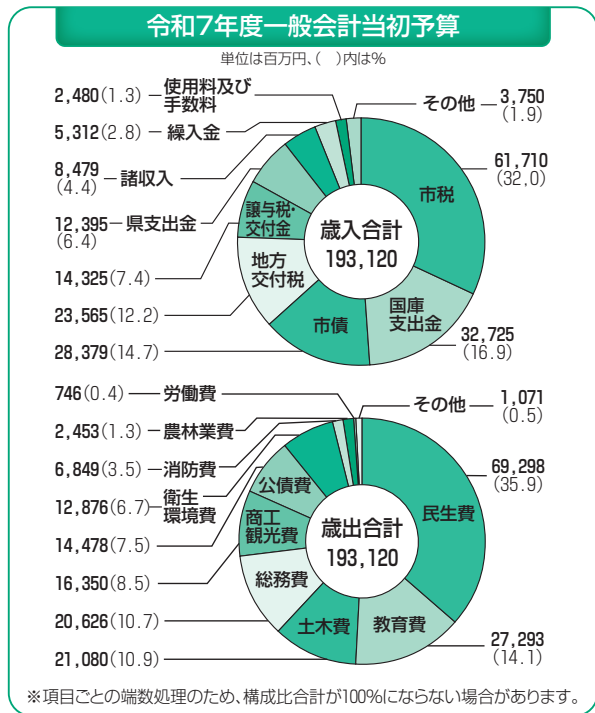
企業の新規投資・事業拡張などの立地ニーズに応えるため、新たな産業用地開発に取り組みます。（二、〇九〇万八千円）

●工場等立地対策補助金

事業所等を新たに設置する事業者を支援します。また、事業用地取得事業助成金の上限額及び対象企業を拡大し、支援の充実を図ります。（三億八、九九万九千九百円）

●団体向け商品券等発行支援事業補助金

プレミアム付き商品券の発行などで集客を促進し、消費を喚起する事業を行う商店街団体、商工団体等を



【未来へつながる公共交通のバージョンアップ】

●市バス等運行

信州新町・中条地区に続き、令和7年度に戸隠・鬼無里地区で市バス

支援します。

●長野駅前B-1地区市街地再開発事業補助金

長野駅前の末広町交差点の北東エリアにおいて、都市機能更新による商業・業務機能の拡充や、まちなか居住を推進する施設整備を行う「市街地再開発事業」を支援し、土地の有効活用や老朽建物の解消により地区の防災性向上を図ります。

(三、九〇〇万円)



信州新町地区で運行しているAIオンデマンドバス

●長野市版公共交通リ・デザイン

令和4年に策定した地域公共交通計画の見直しに向け、運転手不足など様々な課題に対応した新たな公共交通のあり方について調査・研究を行います。また、将来も持続可能な公共交通とするため、自動運転バスの導入に向けた調査を進めます。

(二億二、六八二万八千円)

●「こどもまんなか社会」の実現に向けた取り組みの推進

●子どもの体験・学び応援

子どもたちに様々な体験・学びの

(一、四〇〇万円)

2月 市議会臨時会

2月4日 開催

2月市議会臨時会が2月4日の一日間の会期で開かれ、令和6年度一般会計補正予算等の議案を審議し、全て原案どおり可決しました(4頁参照)。

補正予算の内容

2月臨時会で決定した一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに四十四億五千二百一十万円を追加し、一般会計予算総額は一千七百六十五億五千九百二十六万七千円となりました。主な内容は次のとおりです。

【物価高騰対策】

住民税非課税世帯等価格高騰対策給付金

物価高による家計負担軽減のため、住民税非課税世帯等に対する給付金の支給に要する経費が追加されました。

【その他】

低所得のひとり親世帯臨時特別給付金

物価高による家計負担軽減のため、低所得のひとり親世帯に対する給付金の支給に要する経費が追加されました。

道路除雪事業

山間部を中心に降雪量が想定を超えたため、市道の除雪に要する経費が増額されました。

機会を提供することにより、自分の好きなことを見つけ、自己肯定感を育みながら、成長できる環境を整備します。

●不登校児童生徒アウトリーチ支援

不登校により長期にわたり欠席して自宅にいたることが多い児童・生徒

に対して家庭訪問等を行い、それぞれの子どもの状況に合った学びや必要な支援につなげていく訪問型のアウトリーチ支援を行います。

●学校の環境・機能の充実

学校活動以外にも子どもプラザや

2月臨時会 審議結果一覧

※賛否などの態度が分かれた議案等(■)については、議員別賛否一覧を御覧ください。
※議案名等の「長野市」「～について」等は一部省略して表記しています。

件名			議決の状況	件名			議決の状況
市長提出議案等 (11件)	議案 (8件)	第1号 令和6年度一般会計補正予算	可決 賛成多数	市長提出議案等 (3件)	議案 第7号 市立学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成	
		第2号 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算	可決 全員賛成		報告 第8号 工事変更請負契約の締結について（戸隠・鬼無里情報通信施設光化工事）	可決 全員賛成	
		第3号 令和6年度母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算	可決 全員賛成		報告 第1号 専決処分の報告について（令和6年度日原財産区特別会計補正予算）	報告月日 2月4日	
		第4号 令和6年度介護保険特別会計補正予算	可決 全員賛成		第2号 専決処分の報告について（道路管理上の事故による損害賠償額）		
		第5号 令和6年度授産施設特別会計補正予算	可決 全員賛成		第3号 専決処分の報告について（道路管理上の事故による損害賠償額）		
		第6号 市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決 賛成多数				

■賛否などの態度が分かれた議案等(議員別賛否一覧)

※○=賛成、×=反対、除=除斥、退=退席、欠=欠席、議長は採決に加わらないため「/」と表示しています。
※所属会派は議決時点での会派で記載しています。

件名	議決の状況	新友会										公明党			共産党		改革ネット		次世代長野	無所属																	
		寺沢さゆり	小泉栄正	西沢利一	若林利一	手塚祥	和田一成	和田秀樹	箱山正一	宮崎治夫	松平光平	市川和彦	北沢哲也	金沢敦志	松井篤	青木敏明	加藤英夫	本木晋	堀内伸悟	松井英雄	清水美加子	藤澤紀子	浅川徹	津川博美	野々村博美	黒沢清一	阿部真一	佐藤高志	鈴木洋一	東方みゆき	原ようこ	内藤和久	武蔵立人	倉野一真	山崎裕子	山崎昭夫	
市長提出議案等（議案8件中2件）																																					
第1号 令和6年度一般会計補正予算	可決	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第6号 市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○

災害発生時の避難所等で活用する学校体育館について、暑さ対策として空調設備を設置するとともに、快適性向上のためトイレの洋式化を進めます。
(六、九五一万八千円)

●学校給食提供安定化
子育て世帯の経済的負担を軽減するため、学校給食食材費の物価上昇分を公費負担することで、保護者負担額は変えずに、栄養バランスや質・量を保った学校給食を安定的に提供します。
(二億九、三八八万六千円)

【まち全体での脱炭素社会の推進】
●道路等照明灯LED化
脱炭素社会の実現に向け、道路、公園、排水機場の照明灯を省エネかつ長寿命のLED照明に改修することで、電力消費量を抑え、排出する二酸化炭素量の削減を図ります。
(五億三、五〇〇万円)

【選ばれる「観光都市ながの」の実現】
●インバウンド推進
白馬村・山ノ内町・松本市などの周辺自治体と協力し、外国人スキー客をターゲットとした、誘客プロモーションを実施します。県と連携し、市町村や県境を越えた広域観光連携により、スノーリゾートへの海外誘客を強化します。また、外国人旅行

者に人気の高い、文化財や自然を活かした体験型コンテンツを造成します。
(四、一七六万四千円)

●インバウンド等対応店舗緊急支援事業補助金
本市を訪れる外国人観光客等が増加している中、外国人観光客等が入りやすい店舗等への変更や多言語対応等の受け入れ環境整備を行い、個店の魅力や顧客の満足を高める取り組みを実施する事業者を支援します。
(三、〇〇〇万円)

【スポーツでまちが元気になる好循環の創出】
●社会体育館改修
設備が古く、施設の快適性、利便性が低下している社会体育館において、空調の整備、トイレ洋式化等の改修を行い、施設機能の向上を進めます。
(二億五、〇七七万六千円)

●スポーツツーリズム・合宿誘致への取り組み
本市がもつ大規模スポーツ施設をはじめとした充実したスポーツ環境と、強みである観光を掛け合わせ、スポーツ×観光により「スポーツを軸としたまちづくり」を推進することで、交流人口の拡大と地域経済の活性化をめざします。(一、六五〇万円)

【将来を見据えた持続可能な農業の

実現】
●農業機械化補助金
農業機械の導入費用に対し支援することにより、農作業の省力化、生産性の向上、環境負荷の軽減及び農地の遊休荒廃化の防止を図るとともに、地域リーダーを育成することで、農業の持続的発展を推進します。
(四、八七二万七千円)

◆喫緊の課題に対応した取り組み
【個別施設計画に基づく公共施設の長寿命化】
●公共施設長寿命化(三十八施設)
小・中学校や体育施設、庁舎及び支所など三十八施設に対し、長寿命化対策を行います。
(二一九億七、一九三万六千円)

【主な議案の内容】
長野市手話言語条例
手話が言語であるとの認識に基づき、手話の普及等に関し基本理念を定めることなどにより、市民等の手話及びろう者に対する理解の促進を図ることで、ろう者とうる者以外の人が相互にその人格と個性を尊重し合い共生することのできる地域社会の実現を目的として、制定されました。

3月定例会 審議結果一覧

※賛否などの態度が分かれた議案等(■)については、議員別賛否一覧を御覧ください。
※議案名等の「長野市」「～について」等は一部省略して表記しています。

議 案			議 決 の 状 況		
件 名		議 決 の 状 況	件 名		議 決 の 状 況
第9号 令和7年度一般会計予算	可決 賛成多数		第48号 公共下水道条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成	
第10号 令和7年度国民健康保険特別会計予算	可決 全員賛成		第49号 消防職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成	
第11号 令和7年度駐車場事業特別会計予算	可決 全員賛成		第50号 消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成	
第12号 令和7年度母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	可決 全員賛成		第51号 訴訟の提起について(市営住宅の明渡し及び滞納家賃等支払請求)	可決 全員賛成	
第13号 令和7年度介護保険特別会計予算	可決 全員賛成		第52号 指定管理者の指定の期間の変更について(美和荘)	可決 全員賛成	
第14号 令和7年度授産施設特別会計予算	可決 全員賛成		第53号 包括外部監査契約の締結について	可決 全員賛成	
第15号 令和7年度鬼無里大岡観光施設事業特別会計予算	可決 全員賛成		第54号 市道路線の認定及び変更について	可決 全員賛成	
第16号 令和7年度後期高齢者医療特別会計予算	可決 全員賛成		第55号 工事請負契約の締結について(国補長野運動公園総合体育館杭地業外工事)	可決 賛成多数	
第17号 令和7年度病院事業債管理特別会計予算	可決 全員賛成		第56号 工事請負契約の締結について(ゼロ市債北部勤労者活躍支援センター建設建築主体工事)	可決 全員賛成	
第18号 令和7年度公共料金等集合支払特別会計予算	可決 全員賛成		第57号 工事請負契約の締結について(ゼロ市債長野Uスタジアム排水設備外改修工事)	可決 全員賛成	
第19号 令和7年度産業団地事業会計予算	可決 全員賛成		第58号 工事の請負に係る契約の締結について(道路等照明灯LED化ESCO事業業務委託契約)	可決 全員賛成	
第20号 令和7年度水道事業会計予算	可決 賛成多数		第59号 令和6年度一般会計補正予算	可決 全員賛成	
第21号 令和7年度下水道事業会計予算	可決 全員賛成		第60号 職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び職員の勤務時間及び休暇等に関する条例等の一部を改正する等の条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成	
第22号 令和7年度戸隠観光施設事業会計予算	可決 全員賛成		第61号 市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成	
第23号 令和7年度松代財産区特別会計予算	可決 全員賛成		第62号 市立学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成	
第24号 令和7年度豊栄財産区特別会計予算	可決 全員賛成		第63号 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成	
第25号 令和7年度西寺尾本郷財産区特別会計予算	可決 全員賛成		第64号 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成	
第26号 令和7年度今井財産区特別会計予算	可決 全員賛成		第65号 松代財産区管理委員の選任について	同意 全員賛成	
第27号 令和7年度信級財産区特別会計予算	可決 全員賛成		第66号 西寺尾本郷財産区管理委員の選任について	同意 全員賛成	
第28号 令和6年度一般会計補正予算	可決 賛成多数		認定 第1号 令和6年度度原財産区特別会計決算の認定について(1件)	認定 全員賛成	
第29号 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算	可決 全員賛成		諮問 第1号 審査請求の裁決につき意見を求めることについて	裁決を適当と認める 全員賛成	
第30号 令和6年度介護保険特別会計補正予算	可決 全員賛成		第2号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意 全員賛成	
第31号 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第4号 いじめ重大事態に関する再調査結果の報告について	報告月日 2月26日	
第32号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決 全員賛成		第5号 専決処分の報告について(交通事故による損害賠償額)		
第33号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第6号 専決処分の報告について(交通事故による損害賠償額)		
第34号 一般職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第7号 専決処分の報告について(交通事故による損害賠償額)		
第35号 手数料条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第8号 専決処分の報告について(物損事故による損害賠償額)		
第36号 保護施設の設備及び運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第9号 専決処分の報告について(道路管理上の事故による損害賠償額)	報告月日 3月11日	
第37号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例及び家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決 賛成多数		議会提出議案(1件)	第1号 議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例(案)	可決 全員賛成
第38号 乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例	可決 全員賛成		修正案(1件)	令和7年度一般会計予算修正案	否決 賛成少数
第39号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		請願(3件)	第1号 子ども権利条例の策定にあたり「子どもオンブズパーソン」について十分な調査を求める請願	不採択 賛成少数
第40号 児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第2号 長野看護専門学校存続に向けての支援に関する請願	採択 全員賛成	
第41号 手話言語条例	可決 全員賛成		第3号 「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	不採択 賛成少数	
第42号 地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		陳情(1件)	第3号 国に対して、対外的情報省を設立、横田基地空域の航空管制の返還を求める意見書の提出に関する陳情書	報告月日 2月26日
第43号 国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成				
第44号 南部勤労者活躍支援センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成				
第45号 高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成				
第46号 人権同和教育集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成				
第47号 水道の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等を定める条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成				

■賛否などの態度が分かれた議案等(議員別賛否一覧)

※○=賛成、×=反対、除=除斥、退=退席、欠=欠席、議長は採決に加わらないため「/」と表示しています。
※所属党派は議決時点での会派で記載しています。

件名	議決の状況	新友会														公明党				共産党		改革 ネット	次世代 長野	無所属											
		寺沢 さゆり	小泉 栄正	西沢 利一	若林 秀樹	手塚 一成	和田 おる	箱山 正一	宮崎 治夫	松田 光彦	北沢 哲也	金沢 敦志	桜井 篤	青木 敏明	加藤 英夫	本木 晋	堀内 伸悟	松井 英子	清水 美加子	藤澤 紀子	浅川 徹	野々村 博美	黒沢 清一	滝沢 真一	佐藤 高志	阿出 川希	鈴木 洋一	東方 みゆき	原 ようこ	和田 凌弥	内藤 武道	倉野 立人	小泉 一真	山崎 裕子	山崎 昭夫
市長提出議案等（議案58件中 5 件）																																			
第9号 令和7年度一般会計予算	可決	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
第20号 令和7年度水道事業会計予算	可決	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第28号 令和6年度一般会計補正予算	可決	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
第37号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例及び家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
第55号 工事請負契約の締結について（国補長野運動公園総合体育館杭地業外工事）	可決	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
修正案（1 件）																																			
令和7年度一般会計予算修正案	否決	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
請願（3 件中 2 件）																																			
第1号 子ども権利条例の策定にあたり「子どもオンブズパーソン」について十分な調査を求める請願	不採択	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×
第3号 「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	不採択	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×

質問の要旨

3月定例会本会議では二十九人の議員が質問に立ち、市当局と活発な論議を展開しました。その中から主な質問の要旨を紹介します。

なお、この文章は、基本的に質問議員自ら作成しており、行数は発言時間に比例しています。

代表質問

新友会 若林 祥

問 任期最後となる令和7年度予算案に込められた市長の思いは

答 任期の総仕上げとなる予算案は、未来への飛躍をテーマに掲げ、これ

地域・防災

災害に強く「住みやすいまち」の推進

交通

未来へつながる公共交通のバージョンアップ

健康・福祉

健康で生き生きと暮らせるための支援の充実

経済

市内経済の成長に向けた基盤の強化

これまでの取り組みや取り巻く環境の変化を踏まえつつ、令和7年度当初予算編成の基本的な考え方を特に意識した4つの柱

までの取り組みを一層加速させ、飛躍に向けた変革と挑戦を念頭に置き、本市の魅力を高め、活力あるまちの実現をめざす思いで編成。健康と福祉、地域と防災、経済、交通の四つの分野を柱に据え、新たな取り組みに積極果敢にチャレンジしていく。

問 長野駅前殺傷事件発生以降の本市の対応の経過と、そこから見えてきた課題及び今後の対策は

答 今回の事件を受け、市と警察が連携して防犯対策を進めていく必要と同時に、地域での防犯意識の高揚や自主防犯活動をさらに活性化させる重要性を改めて認識した。今回のような無差別的な事件では対応の難しさはあるが、警察や防犯協会連合会等の関係機関、地域とも連携し、安心して暮らせる社会の構築をめざして、できることから取り組む。

問 青木島こども未来プランのうち、小学校内の整備状況と保育園移転新築に向けた進捗状況は。また、本プランへの市長の思いは

答 小学校内の整備では教職員駐車場を整備、遊び場と保護者送迎駐車スペースを確保し、新たな多目的棟はおおむね整備が完了。園舎の移



令和7年3月に完成した青木島小学校多目的棟

転新築では、移転候補地の近隣住民等に対する説明会の開催とともに意見交換を複数回にわたり実施した。

答 地域の諸課題の解決にとどまらず、新たな子育ての拠点となり、長野市モデルとして市全体のよりよい環境づくり、まちづくりへと広がることをめざして取り組んでいく。

問 市内経済の活性化に向け、新年度はどのような取り組みを進めるか

答 中小企業等の経営環境は、エネルギー・原材料価格の高騰や人手不足などの影響により、先が見通せない状況。これらを克服する施策として、設備、人材、技術、新規事業開発の四つの分野へ未来に向けた投資を重点的かつ積極的に行い、経済の

好循環の実現をめざす。

問 子育て世帯の経済的負担軽減に向けた学校給食費への市の対応は

答 急激な物価高による食材費高騰分は公費で負担。新年度予算案では公費負担額を増額し、計上している。

公明党 堀内 伸悟

問 当初予算のテーマ「未来への飛躍」に込められた市長の思いは

答 未来への投資や生活基盤の強化を図ることで、市民の暮らしの向上、地域の安全・安心の確保、市内経済の活性化という飛躍へとつなげたい。

問 防災対策に福祉の視点をもった対応が必要と考えるが

答 災害対応において福祉の視点は



指定福祉避難所で行われた避難訓練



非常に大切なポイントと認識している。改正災害対策基本法等の趣旨を踏まえ、本市の災害対応の経験と取り組みを生かしながら対応する。

問 障害者の就労支援について、就労支援B型との併用で一般企業に勤務できるような支援体制はあるのか

答 現在、本市では行っていない。今後、自治体によるマッチング支援事業について調査、研究していく。

問 保育士不足が課題。保育士の養成と確保を進めるべきと考えるが

答 保育士をめざす学生を増やす取り組みを継続しつつ、市独自の奨学金制度の創設など他市の状況を調査研究し、保育士の確保に取り組む。

問 子どもの権利を守る条例の制定のみではなく、子どもの権利侵害などの救済機関であるオンブズパースンの設置を検討すべきと考えるが

答 オンブズパースンを条例に位置付け設置することが、子どもの権利を守ることに結びつくと考えている。

※子どもオンブズパースン…子どもの権利侵害に関する相談や救済に取り組む第三者機関のこと。関係者への調査等を行うとともに、必要に応じて勧告や意見表明等を行う。

問 男性が産後うつを発症する問題が顕在化しており、母子を支える父親をどうケアするかは大きな課題。支援の仕組みづくりが必要では

答 休日マタニティセミナー受け入れ人数の拡大、職場理解の促進、医療機関との連携等により、安心して子育てができる環境づくりをめざす。



赤ちゃんのいる生活を夫婦で学ぶ休日マタニティセミナーの様子

問 学校体育館の空調設備について、全国の小・中学校の設置率は一八・九％、長野市では二・八％。本市も早期に導入すべきと考えるが

答 国の交付金制度を積極的に活用し、できる限り早期に学校体育館へのエアコン整備が進むよう取り組む。

問 地下空洞の目視以外の調査予定は。地下空洞調査の際、最新技術を活用する等の検討も必要と考えるが

答 調査の実施を検討中。新技術の導入についても積極的に検討する。

共産党 阿出川 希

問 本市は、生活保護受給者のうち、追い詰められている人、孤独な人などに寄り添っていくのか

答 適切な訪問回数を確保し、生活状況や健康状態を確認するとともに、気軽に相談できる信頼関係を構築し、関係機関とも協力して支援していく。

問 本市にも、子どもオンブズパースンの設置が必要ではないか

答 子どもオンブズパースンを条例に位置付け、設置する。

問 長野市社会福祉協議会の訪問介護職員の採用状況や充足状況は

答 採用状況は、若干名ではあるができていない。充足状況も極端な不足は生じていない。サービス提供状況は、ニーズに何とか応えている。

問 長野駅前B-1地区再開発事業

は民間主導だが、多額の公金が投入されるため市民参加、説明責任、透明性を確保すべき。専門知識を有する公平、中立な立場の専門家による第三者機関を設置すべきでは

答 都市計画審議会は、都市計画法に基づき、専門的かつ多角的な視点で審議される公平、中立な組織であると考えており、新たな第三者機関の設置は考えていない。

問 上田長野地域水道事業広域化は地域全体の利益のためと強調されるが、市町単位が水道の基本では

答 労働人口が減少する時代に、近隣自治体と広域連携し、人材育成、確保を行うことは地域全体の利益のためにも有効。一方、水道管破裂等の修繕や災害時の緊急対応では、事業者との協力が不可欠で、今後も市町単位での協力関係を継続していく。

問 市街地と中山間地を結ぶバス路線五路線の減便に加え、廃止も含め検討すると報道された。公設民営の導入も検討し、基幹路線を含め、全面的な路線の見直しと全市をカバーする交通網の再編を強く要望するが

答 新たな課題に対する解決策や路



長野市議会公共交通対策調査研究特別委員会では、岐阜市の自動運転バスを視察した

線等の再編計画を立て、自動運転の研究も行うなど、持続可能な公共交通環境となるよう取り組む。

問 子どもたちのためにも、通学の足の確保を早急に求めるが

答 教育委員会、事業者等と連携し、子どもたちの通学への影響を最小限にとどめるよう努める。

個人質問

改革ネット 鈴木 洋一

問 令和8年12月に予定されている五輪大橋無料化は、丹波島橋や長野大橋等の渋滞緩和に大きく貢献するものと考ええる。五輪大橋無料化による交通経路の分散と五つの橋の最適化利用に向けた誘導策が必要だが

答 五輪大橋無料化について、マス

コミを利用した周知に加え、市内各企業に対し、車で通勤する際の五輪大橋利用促進の周知を検討する。また、各橋梁の混雑度をドライバーに伝えるためのデジタルサイネージ等の活用を、国・県など関係機関の意見を聴きながら研究していく。

次世代長野 和田 凌弥

問 特別豪雪地帯の鬼無里地区と戸隠地区での命綱固定アンカーの設置補助拡充と、住宅除雪支援員の報酬引き上げや待遇改善に対する考えは

答 本年度は命綱固定アンカーの設置補助申請がない状況で、制度のあり方等について検討する必要がある。まずは、住宅除雪支援事業対象世帯に事業継続できることを基本に検討する。直面する支援員の担い手不足解消のため、報酬額の見直しは有効



今年の鬼無里地区の積雪状況

な手段。民間事業者の報酬の状況や周辺市町村の状況などを踏まえながら、待遇改善に向けて検討していく。

新友会 松田 光平

問 「ながのワイン元年」などのキヤッチフレーズを考案し、いろいろな場所で様々なメディアを使った同時多発的な長野市産ワイナリー誕生を祝う振興策を要望するが

答 市内のワイン用ぶどうの栽培面積は小規模で収穫量も少ないことから、引き続きワイン用ぶどうの生産支援を行うとともに、本市産ワインをどのようにPRし、認知度を高めていくか、ワイナリー事業者やNAGANO WINE応援団等と連携を図りながらワイン振興に取り組む。

問 長野市産材木を認定して流通させたいが、林業サイクルが回っていない本市では森林のもつ多面的機能を広報し、大人にも木工製品のよさを知ってもらえるよう取り組んでは

答 多くの人に森林のもつ多面的機能を知ってもらい、森林整備に対する理解を深めてもらうことは大変重要。幅広い世代に理解を深めてもらうイベントに発展できるよう、なが



令和6年10月19日に開催された「ながの森林・林業フェア」

の森林・林業フェア実行委員会の中で関係者を交えて検討していく。

公明党 浅川 徹

問 スフィア基準に基づく本市避難所におけるトイレのあり方の見解は

答 本市の避難所運営マニュアルは、スフィア基準を参考に令和3年3月に作成。トイレの設置基準は、災害発生当初は男女別で約五十人当たり一基、避難が長期化する場合は男女別で約二十人当たり一基としている。本市が備蓄する災害用トイレに加え、国や県と連携して確保を図っていく。

※スフィア基準：災害や紛争の影響を受けた人々が、尊厳ある生活を送り、支援を受けることを目的に定められた国際基準のこと。人命維持のために必要不可欠な、給水・衛生、食料の安全保障と栄養、避難所及び避難先の居住地、保健医療の各分野にお



ける最低基準を定めている。

問 携帯トイレの必要数確保を。使用方法等をマニュアルに反映しては

答 必要数を超える三十五万回分以上を備蓄している。使用方法は掲示物の作成を検討していく。

無所属 小泉 一真

問 市民の不安に向き合わないのは、市長の資質とは言えない。駅前殺傷事件容疑者の生活保護上の処遇につき、市長から検証を指示したのか

答 常に確認と点検が行われている。

問 清泉女学院大一般入試の一部が中止され市内受験生に影響があった。市長は抗議し再発防止を確認しては

答 市から何らかの対応を取るべき立場にはない。

問 市道路啓開計画を策定し二百七十五の孤立可能性集落に対応しては

答 県の計画改定が公表され次第、市計画策定に向けて準備を進める。

※道路啓開：災害により損傷したり、倒壊物の瓦礫などで塞がれたりした道路を、緊急車両等の通行のため、速やかに最低限の瓦礫処理や段差修正を行い、救援ルートを切り開くこと。

新友会 本木 晋

問 障がいのある方々の就労機会の創出、工賃向上を目的とし、ふるさと納税返礼品の製作等を推進しては

答 返礼品を作成する可能性がある就労継続支援A型・B型事業所約七十施設に対し、新たな返礼品について募る。また、返礼品の梱包・発送業務を受注できないか働きかけるとともに、既存の返礼品提供事業者に対して就労支援施設を紹介し、受注機会の創出を図る。ふるさと納税制度の返礼品による長野市の魅力発信の推進に併せ、障がいのある人の就労機会の創出、工賃の向上に努める。

問 雪かきがされない歩道で点字ブロックが埋もれている危険箇所が散見される。融雪機能をもつ点字ブロックの導入など、今後の対策は



視覚障害者も生き生きと暮らせるまちづくりをめざし、点字ブロックの設置を進めている

答 新たに点字ブロックを設置する際には、融雪用高熱伝導コンクリートを利用した融雪機能をもつ点字ブロックの導入が可能か、研究する。

新友会 加藤 英夫

問 (仮称)若穂スマートインターの工期延長は大きな損失。市としてどのような働きかけが可能か

答 国交省、財務省に対し、早期完成と財政支援の要望を継続的に行う。

問 少しでも早くスマートインターが開通できるよう、あらゆる可能性を考慮してほしいが、市長の見解は

答 国・県・NEXCO東日本に対し、柔軟な対応を強く求めている。

共産党 黒沢 清一

問 本市で教職員が本来必要な数に達していない未配置や教職員の病休者は何人か。登校拒否・不登校の増加推移と教職員の精神疾患による病休の割合が相關している。定数の改善を関係機関に働きかけるべきでは

答 欠員数は、令和7年2月28日現在で九名、県費負担教職員の病休者数は七名。教職員の定数改善につ

ては、引き続き国や県に要望する。

問 信州新町産廃処理場の産廃事業者は、残置廃棄物の撤去作業を2月から開始すると伝えた。残置廃棄物に鉛以外の汚染物質が含まれている可能性がある。市は、撤出作業中、作業後も適切な指導をすべきでは

答 撤去作業の着手前、作業中、撤去後において、それぞれ実施状況に支障がないか確認する予定。

新友会 桜井 篤

問 上下水道管の老朽化対策は

答 水道管は口径三百mm以上の基幹管路の更新を優先し、毎年約二十億円の事業費で実施する。下水道管は、毎年事業費約六億五千万円、施工延長約四・二キロメートルで計画的に改築・更新を実施している。

問 救急車の適正利用と、選定療養費徴収の検討に対する見解は

答 適正利用は、長野県救急安心センター廿七一九番等の電話相談窓口の認知度を高めていく。選定療養費の徴収は、各医療機関の実態や先進都市の事例等を基に慎重に検討。市民が救急時に安心して受診できる

救急医療体制の適正化に取り組む。



急な病気やけがで、救急車を呼ぶか病院に行くか迷ったとき、電話で看護師等の相談員からアドバイスが受けられる受付時間など利用方法の詳細は、上のQRコード（長野県ホームページ）からご覧いただけます。

病院？ 救急車？ 迷ったら！！

シャープ ななの ひゃく じゅー きゅーばん！

#7119

※ダイヤル回線・IP電話回線の場合は「026-231-3021」へ
看護師のアドバイスが受けられます。

受付時間 平日：19時～翌8時
土・日・祝日：8時～翌8時

子ども（概ね15歳未満）は **#8000** へ
受付時間：毎日19時から翌8時まで

緊急時は迷わず119番

新友会 市川 和彦

問 公民連携により民間の遊休スペースを活用し公共活動の場の確保を

答 従来の施設確保の考えから一歩踏み出し、新たな発想で市民活動の場の確保に向け変革、挑戦を続ける。

問 市民が主役となり市政に関わるため、分散型自律組織DAOのような行政参画の仕組みを提案するが

答 まちづくりへの市民参加は重要。先進自治体を参考に研究を進める。

※DAO：Decentralized Autonomous Organizationの略で、分散型自律組織と呼ばれる。特定の所有者や管理者が存在せず、限られた参加者の中で投票により意思決定し、事業やプロジェクトを推進する組織のこと。Web三・〇の技術を使い、情報の改ざんなどが困難な仕組みとされる。

問 地域性・独自性を生かしたインバウンド受け入れ環境の整備を

答 観光誘客の大きなチャンスと捉え、周辺自治体と連携しエリアの強みを生かした誘客に全力で取り組む。

問 松岡大豆島線など幹線市道に、ラウンドアバウトを導入すべきでは

答 複雑な形状の交差点には有効。一定条件を満たす場合は導入を検討。

無所属 山崎 裕子

問 子どもオンブズパーソンは、子どもの立場に立ち、子どもを取り巻く人々や環境に働きかけて、必要に応じて関係機関と連携しながら、人と人をつなぐ関係調整活動を行う。子どもオンブズパーソンを設置し、理念だけではなく、今、困っている子どもの権利を確かに守ることが

答 傍聴の案内、一人一台端末での視聴、市教委ホームページへの子ども議会だよりの掲載を検討していく。

きる実効性ある子どもの権利条例を

答 条例の実効性担保のための具体的取り組みとして、こども総合支援センターあいのえつとを中心とした相談と救済の連携を一層強化することと併せ、子どもの権利侵害の救済機関として、いわゆる子どもオンブズパーソンを条例に位置付け設置する。

改革ネット 原 よしこ

問 長野駅東口に、バス待合所を兼ねた、主にインバウンド客に観光案内する場を新設してはどうか

答 交通事業者と必要性を検討する。

問 老朽化した保育所建て替えの検討を含めた個別施設計画の見直しを

答 少子化の進行を考慮し、現在の施設を大切に使いつつ計画を進める。

問 「長野市子ども議会」の活用を

答 傍聴の案内、一人一台端末での視聴、市教委ホームページへの子ども議会だよりの掲載を検討していく。

新友会 北沢 哲也

問 北部幹線の整備スケジュール、



市北部地域を東西に結ぶ幹線道路として整備が予定されている北部幹線

事業予算と財源確保の見通しは

答 令和7年から8年にかけて境界立ち会いを実施し、用地買収面積を確定する。8年度からは、支障となる建物等の補償調査を行い、補償金額の算出後、用地交渉、用地取得を進め、10年度から埋蔵文化財調査に続き、工事に着手する計画。事業予算と財源確保の見通しは、用地の買収費、建物等の補償費と工事費により、約三十七億円の事業費を見込み、その財源としては、国の補助率が五五%となる社会資本整備総合交付金を活用し、事業認可を得る。

問 市有財産のうち、未利用地の今後の活用方針について、見解は



答 民間事業者の協力による未利用地等の活用も含め、関係部局と連携し、市民ニーズに合った有効活用の可能性を検討していきたい。

共産党 滝沢 真一

問 城山公園駐車場は、こども館や動物園、公園で遊ぶには二時間無料では足りない。有料化後の利用状況は。また、料金の見直しを求めるが

答 有料化後の平均利用時間は二時間未満であり、こども館の利用者ア



ながのこども館や城山動物園では様々なイベントが開催されている



ンケートでも、滞在時間二時間未満の利用者が約八割。この状況から、現在の割引は妥当であると認識しており、料金見直しの予定はない。

問 割引が二時間までだから、それに収まるように利用しているだけ。もう少し長く使いたいとの意見があるのか調査を求める。子育て世帯が本当に使いやすいと思える状況をつくってほしい。見解は

答 今後も利用状況については調査していく。また、意見についても耳を傾けて検討を重ねていく。

公明党 藤澤 紀子

問 三念沢の雨水調整池の整備と併せ、道路整備も必要不可欠では

答 予定地に隣接する市道は地域からも改良要望がある。地元を示した複数案の検討に含め、調整している。

問 北部幹線の先線が事業認可されたら、古里小前の渋滞解消のため、先行して拡幅、右折レーンの工事を

答 本工事完成に数年を要することから、暫定整備に向け検討中。本工事に對し大きな手戻りとならないこと等が求められており、現在、県や

公安委員会等と詳細を協議している。

無所属 山崎 昭夫

問 長野駅前B-1地区市街地再開発事業について、長野市らしさがどうデザインに反映されているのか

答 象徴と調和をコンセプトに掲げ、善光寺と長野駅という二つの拠点をつなぐ要素を取り入れる。自然や環境にも配慮したデザインとする予定。

問 自動運転バス導入への考えは

答 安全性など様々な観点からの研究を新年度に実施。結果から費用対効果等を含め導入の可否を判断する。

問 地域路線再編モデルの所見は

答 市民に安心して生活してもらえよう、路線の維持と確保を図る。

新友会 青木 敏明

問 本市の令和5年度不登校児童・生徒数は、千六百八十八人と増加傾向。7年度予算に新たに計上された不登校児童生徒アウトリーチ支援事業は、教育の枠を超えて、子育て、福祉、医療等にもつながる支援。その狙いや期待される効果は

答 家庭訪問等を行い、子どもや家庭の状況を踏まえた支援計画を立て、一人ひとりに合った学びや必要な支援につなぐ。子どもの心理的な安定や生活リズムの改善、学習の遅れの解消など、様々な効果が期待される。

※不登校児童生徒アウトリーチ支援事業…令和7年度から長野市が行う事業で、不登校により長期にわたり欠席して自宅にいたることが多い子どもに對し、家庭訪問等を行い、それぞれの子ども状況に合った学びや必要な支援につなげていく取り組みのこと。

問 豊野地区住民自治協議会の要望に応えた被災地区移住補助金の継続に感謝する。今後の復興と住みやすいまちの推進に向けた市長の決意は

答 被災地の住民が地域に希望をもち、この地で暮らし続けたいと感じてもらえるよう取り組むとともに、ハード・ソフトの両面から災害に強く住みやすいまちをめざす。

新友会 和田 一成

問 オーバーツーリズム対応のうち、マナー違反行為の防止・抑制策は

答 奥社の侵入禁止エリアへの立ち入りは、危険エリアにロープを張り、多言語で看板を掲出。また、長野駅に新たに設置するデジタルサイネー

ジを活用し、日本の文化やマナーについて積極的な周知、啓発に努める。

問 特別豪雪地帯への克雪支援として、屋根の雪下ろしへの対応は

答 緊急対応として、住宅の雪下ろし経験のある市職員を鬼無里地区に派遣し、対象世帯の除雪作業を実施。

問 若者を含め、移住・定住につながる半林半X、半農半Xへの支援と森林環境譲与税の活用に係る見解は

答 県林業労働財団での林業基礎知識習得や市農業研修センターでの技術習得を支援。小規模な森林整備にも森林環境譲与税を使い、支援する。

※半林半X、半農半X：林業または農業と他の仕事を組み合わせたライフスタイルのこと。

無所属 倉野 立人

問 本市の競争入札落札率が県内でも低率で市内企業の経営を圧迫している現状をどう考えるか

答 事業者数が多く競争が激しい状況。物価高騰が著しい現状では、最新の単価等を用い、適切な予定価格を設定することが必要。工事の品質確保の観点から適正な設定に努める。



ポータブル夜間照明Vライト。4基あればテニスコート1面で練習ができる

問 部活の地域移行に向けて、屋外競技のためのナイター照明設置に積極的に取り組むべきだが、見解は

答 ポータブル照明の導入のほか、設備のある既存体育施設を活用する。今後も各クラブや団体のニーズ等を基に必要な設備や環境整備を進める。

次世代長野 内藤 武道

問 レンタサイクル事業について、今後の発展的拡大への展望は

答 多くの要望があった善光寺周辺へのステーション設置は、協議を進めている。モデルコースの研究やEバイクと自然体験などを組み合わせた観光コンテンツの開発など、利用

促進に向けた取り組みを進める。

問 市公式アプリ「ながのプラス」の位置付けと、今後の展開は

答 長野市行政DX推進計画に基づいた具体的な機能として導入したもの。新サービスの導入は、必要なのを見極め、財政的負担も勘案し、導入の可否について検討していく。



子育てや生活に役立つ情報をお届けする「ながのプラス」。詳細は上のQRコードからご覧いただけます。ぜひご利用ください。



新友会 箱山 正一

問 人口減少時代の移住に頼らない本市の活性化について市長の考えは

答 ポイントとなるのは、男女共同参画を推進し、女性が活躍しやすい環境を整えること。また、多様性を認め合い、性別、障害の有無、年齢などにかかわらず、誰もが尊重され

る社会を実現すること。さらに、地域特性を生かした産業の強化、育成や、スタートアップなど新たな産業創出に取り組み、雇用、所得、投資につながる地域経済好循環を生み出していくことだと思う。こうした取り組みを通じて、人口減少時代の本市の活性化とは、市民が心も体も健康で、誰もが活躍の場や居場所を持ち、特に未来をつくる若い世代が夢や希望をもって、長野市で暮らし活躍できる、活気に満ちたまちを実現することだと考えている。

公明党 清水美加子

問 市民の負担軽減、行政側の負担軽減のためにも、マイナンバーカードの活用を広げるべきでは

答 課題を整理するとともに、市民ニーズの高いものから、できるだけ早期に実現できるよう検討する。

問 令和5年12月定例会において要望したが、改めて「あのえつと」にLINEの相談窓口を設けるべきと考えるが、見解は

答 庁内の関係部署とも検討を重ねた結果、令和7年5月中旬頃から開始できるよう調整ができた。

13

常任委員会のうごき

福祉環境委員会

●子どもの体験・学び応援事業について、多くの子どもたちに体験や学びの機会を提供できるよう、子どもたちの声にも耳を傾けながら、利用できていない方たちの状況を調査、分析し事業を促進するよう要望した。

●産後ケア事業について、母親と子どもにとって、産後の最初の関わり方はとても大切なものであることから、引き続き、母子に寄り添い、より利用しやすい環境整備に努めるよう要望した。

●高齢化の進展に伴うごみの収集に関する課題について、高齢化が進む中、特に中山間地域において、集積所へごみを出すことが困難になっている高齢者がおられるという課題があることから、他の自治体の事例等を参考として、地域の特性やニーズに応じた排出困難者への支援について調査、研究するよう要望した。

●請願第一号については、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

●請願第二号については、全員賛成で採択すべきものと決定した。

経済文教委員会

●プレミアム付き商品券の発行など

で集客を促進し、消費を喚起する事業を行う商店街団体、商工団体、業界団体等に対し、その経費を補助する団体向け商品券等発行支援事業補助金については、市内経済の活性化や経済波及効果も期待されることから、多くの団体に当補助制度についての周知を図るよう要望した。

●本市では、今年度からヘーゼルナッツの振興に積極的に取り組んでいるところであるが、今後はどのような長野市産ヘーゼルナッツをブランド化させ販路を確立していくかが重要であるため、本格的に収穫できるようになる前に、地元企業や関係部局、近隣自治体等との連携も視野に入れた販売戦略の構築を要望した。

●社会体育館の空調の整備やトイレの洋式化については、誰もが快適に使いやすいものとなるよう、今後に必要な予算の確保を図り、計画的に改修をしていくことを要望した。

●請願第三号については、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

建設企業委員会

●本市では、長野市こどものびのびビジョンの中で、公園施設の魅力向上に向けた検討を行っており、ワークショップを通じて提案された意見を

を活かした公園施設魅力向上基本計画策定を予定している。そこで、提案された意見を同計画にできるだけ反映させるとともに、関連部局とも情報共有や連携をしながら、庁外の様々な団体の参画の検討を要望した。

●本年2月に、長野市川合新田水源の取水方法等検討専門家会議において取りまとめられた意見書によると、同水源から供給している水道水の安全性は確認されているが、引き続き、市が実施する水質検査結果を公開し、今後の国の動向等を踏まえた情報発信などの対応を要望した。

●市内の建設業では、若手や女性の入職者を確保し、次世代へ技術を継承していくことが喫緊の課題となっている。そこで、関連部局や民間事業者など庁内外とも連携しながら、建設業の人材確保につながる、より効果的な方策の実施を要望した。

総務委員会

●本市では、住民自治リフレッシュプロジェクトの実施により、様々な分野で住民自治のあり方についての整理が進みつつある。一方で各地区の活動状況等はそれぞれ異なり、他地区のよりよい取り組みを取り入れることが課題の解消につながる事例



石川県珠州市の避難所に設置されたトイレトレーラー

も期待される。そこで、今後も地区ドック等の情報を共有するとともに、適宜、プロジェクトの目的や進捗状況、めざす姿等について丁寧(ていねい)に説明し、前向きに推進するよう要望した。

●本市で新たに導入するトイレトレーラーについて、災害時の避難所における衛生環境の改善や健康二次被害の防止のほか、市外の被災地支援への貢献が期待される。特殊車両であるため納品までに一定の期間を要するとのことだが、いつ起こるか分からない災害への備えとして、できるだけ速やかに配備するとともに、発災時、有効に機能し得る運用体制の整備や、広く市民に認知されるよう、イベント等における体験機会の提供を要望した。

特別委員会のうごき

公共交通対策調査研究 特別委員会

1月に県外への行政視察を行った。石川県金沢市では、金沢交通戦略について視察した。多様な交通手段の乗り継ぎ拠点となる「金沢版モビリティハブ」の整備や官民連携で進めるパーク・アンド・ライドの取り組み等について説明を受け、人中心のまちなかを実現するための幹線公共交通ネットワークの構築について調査した。岐阜県岐阜市では、地域公共交通について視察した。コンビニやドラッグストア等の店舗内でバスを待つことができる「バスまちば」や路線バスを補完する市民協働の手づくりコミュニティバスの取り組み等について説明を受けた。運行エリアを広げないコンパクトなルート設定と乗り継ぎ拠点の整備は、利用者の利便性向上につながっていると感じた。また、中心市街地や観光地を周遊する自動運転バスに乗車した。

水道事業広域化調査研究 特別委員会

1月には、先進事例として水道事

業広域化を行った企業団を視察した。岩手中部水道企業団では、事業統合することで、施設のダウンサイジングや事業費の安定的な確保が図られていることを確認した。

八戸圏域水道企業団では、安定した水道事業の運営が行われている一方で、水道事業が抱える課題を解決するために、さらなる広域化にも着手していた。

2月の委員会では、上田長野地域水道事業広域化基本計画（素案）に対する意見募集等の結果について、調査した。また、委員会としても基本計画（素案）に対して、質疑・要望等を行った。

3月の委員会では、上田長野地域水道事業広域化協議会の構成団体の水道事業の現況について調査した。

また、上田長野地域水道事業広域化は、さらに重要な局面を迎えることから、広域化を進めるべきか、委員会として方向性の結論を出し、要望事項と併せて報告することとした。

中山間地域活性化調査 研究特別委員会

前回の委員会で決定した森林環境譲与税を活用した中山間地域の振興について、次の調査・研究をした。

1月は、長野県庁を視察し、県全

域の林業の状況、県が実施する林業事業者に対する補助制度など、県の林業施策について調査した。

2月は、先進地の行政視察を実施し、栃木県矢板市では、林業成長産業化及び林業担い手の確保・育成に向けた取り組みについて、埼玉県秩父市では、森と林業の活性化に向けた取り組みについて調査した。いずれの自治体も森林体験や森林で伐採した木材を活用することで、林業の担い手確保や、森林に対する理解を深める事業を実施していた。本市も同様の事業を実施していることから、これを活用するとともに、中山間地域の住民が参加できる仕組みをつくるなど、より多くの市民に読んでもらうための工夫がされていた。

広報広聴委員会

広報広聴委員会は、昨年10月に設置されて以降、市民との意見交換会の開催方法等に係る検討、市議会だよりの編集等を行っており、2月には、広報広聴に関する委員会を設置している他市の取り組みを視察した。

埼玉県所沢市では、意見交換会の開催時間や開催場所を変更したり、若者層向けの取り組みを強化したりしていた。また、市議会だよりの表紙に、市とゆかりのある人物を掲載

ることで、林業の振興を通じて関係人口を創出し、中山間地域の振興につながることを期待できる。

3月の委員会では、これらを踏まえ提案事項の具体的な協議を始めた。



長野県庁での視察の様子

するなど、より多くの市民に読んでもらうための工夫がされていた。

神奈川県厚木市では、広報広聴委員会の主導で意見交換会のテーマや意見交換の相手、担当委員会等を決定しており、イベントに併せて開催したり、高校や大学と連携したりするなどの取り組みがされていた。

意見交換会や市議会だよりに関する課題は、本市でも共通するものが多く、他自治体の事例を参考にしながら、より効果的な方法を検討していくこととした。

令和6年度 長野市 子ども議会 を開催

去る3月27日、10回目となる長野市子ども議会が開催され、14名の児童・生徒が、教育や防災など様々な分野にわたり提案を行い、理事者と論議を交わしました。加えて、過去に提案を行った生徒2名が、当時の思いや提案を通じて得たことを発表しました。ここでは主な提案内容を紹介します。



5 小 学 生

自分の学校のいいところや魅力をたくさんの人に知ってもらいたい。学校のよさや魅力、総合的な学習の時間で活動したことなどを書いた模造紙の新聞を、市役所に展示する場所をつくってはどうか。

総務部長：市役所としても、ぜひ一緒に取り組みたい。できるだけ多くの方に見てもらえることが大切なことから、庁舎1階の市民交流スペースに、皆さんが作成した新聞などを展示する専用スペースを設けたり、デジタルサイネージといった電子掲示板へ掲示したりする方法が考えられる。さらに、移動可能な展示ボードを新たに作製するなどし、市役所や美術館を訪れた方の目に留まりやすい場所を選んで展示する等の方法も検討したい。

5 小 学 生

食をテーマに大人も子どもも楽しい空間をつくりたい。給食のメニューをみんなで食べる、地域に開かれた給食フェスティバルはどうか。献立を一緒に考えたいので、給食センターの方にも協力してもらえないか。

教育長：市役所で営業している食堂を会場に開催するのも面白いのではないかと。献立を考える際には学校給食センターでお手伝いできる。これまでに提供した地域食材の献立も参考に、長野市の食材を使った献立づくりに、ぜひ挑戦してほしい。考案した献立は実際に他の学校へ提供したり、市役所の食堂で一定期間提供したりすることを検討したい。Instagramの公式アカウント「長野市の学校給食」で発信し、献立に込めた思いを大勢の人に伝えていきたい。

2 中 学 生

長野市が開催しているイベント「ジェンダーを考えよう！大人は？あなたは？」の対象者を、興味のある中学生や社会人に広げることで、より多くの子どもたちが人権について考える機会をつくってはどうか。

地域・市民生活部長：令和6年度は高校生と大学生を対象にしたイベントとして開催したが、提案のように、中学生も一緒に考える機会は大変有意義なことから、7年度は中学生を含めた幅広い年代の市民が参加できるイベント開催の検討を進めたい。市が実施する講座やイベントなどの周知・案内については、教育委員会とも協力し、スクール・ネットワーク・メールを活用してお知らせするなど、小・中学生の皆さんが情報を受け取れるような方法を考えていきたい。

2 中 学 生

小・中学校の体育館へのエアコン設置は、私たちが安全で充実した学校生活を送れるだけでなく、いざというときには市民も使うことができ、必ず役立つ。熱中症や防災対策のため、エアコンを設置してほしい。

教育次長：令和6年度に試験的に設置した小学校3校で、冷房効果を分析、検証したところ、断熱性能が不十分な体育館では効果が限定的で、暑い夏は涼しく感じられないことが分かった。効果が十分でない2校は、今後、断熱性能を向上させる改修を行う。7年度は、現状でも冷房効果が見込める小学校2校の体育館に設置する予定。今後、断熱性能が不十分な体育館にエアコンを設置する場合には、屋根、壁、床等への断熱改修を併せて行うことを考えている。

2 高 校 生

学校に行けなくなってしまった子どもたちに、学校以外にも一人ひとりが輝ける場所があることを知ってもらえるよう、フリースクールや教育支援センターの存在をホームページやSNSで発信したらどうか。

市長：教育支援センターSaSaLANDやフリースクール等の情報は、居場所説明会「長野地域多様な学びフォーラム」を開催したり、市ホームページに掲載したりして発信している。今後は、実際の様子をもっと分かってもらえるように、利用している子どもの生の声や自分のよさを生かして活動している様子をホームページ等で発信し、あの場所に行ってみたい、やりたいことを見つけてチャレンジしたいと、一歩を踏み出すきっかけとなるよう取り組んでいく。



広報広聴委員

委員長 金沢敦志
副委員長 加藤英夫
委員 藤澤紀子、原ようこ、山崎昭夫、寺沢さゆり、阿出川希、北沢哲也、和田凌弥

「ながの市議会だより」の限られた紙面の中で、長時間にわたる定例会と各委員会の内容を、読みやすくかつ興味をもつて読んでいただけるよう構成することに、毎回苦心しています。

他市の議会報も参考にしたり研究したりしていますが、様々な様式があり一長一短です。紙面構成の向上のため、市民の皆様からご意見を頂戴できれば幸いです。

編集後記

● 日程案は変更とすることがあります。
● 「請願」「陳情」を希望する人は開会日までに提出してください。
● 傍聴は開催当日、次のところで受け付けます。
・本会議：第1庁舎8階（傍聴席入口）
・委員会：第1庁舎7階（議会事務局）
● 乳幼児一時預かりサービスは、利用を希望する対象保育所等へ直接お申し込みください。手話通訳及び要約筆記サービスは、傍聴希望日の3日前までに議会事務局へお申し込みください。（いずれも無料）

6月市議会定例会 会議予定

日	時間	内容
6月12日(木)	17:00	本会議（会期の決定／議案上程）
13日(金)	17:00	休会
18日(水)		本会議（一般質問〈個人〉）
19日(木)		本会議（一般質問〈個人〉）
20日(金)		本会議（一般質問〈個人〉）
21日(土)	22:00	議案質疑等
23日(月)		委員会（福祉・環境・建設企業）
24日(火)		委員会（総務・経済文教）
25日(水)	26:00	休会
27日(金)		本会議（採決）



長野市議会

検索

長野市議会ホームページ

<https://www.city.nagano.nagano.jp/shigikai/index.html>

E-mail: gikai@city.nagano.lg.jp

長野市議会事務局

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
TEL：224-5057 FAX：224-5105